

長野県総合防災訓練が開催されました

11月5日（日）飯田市川路多目的広場を主会場に「平成29年度長野県総合防災訓練」が実施され、生協からは、コープながの、生活クラブ生協長野、県生協連事務局から5名が参加しました。長野県総合防災訓練は、災害対策基本法・長野県地域防災計画及び飯田市地域防災計画に基づいて防災関係機関と地域住民が相互に連携して、各種の防災訓練を総合的に行うもので、毎年県内の市町村が会場となって実施され、今年は飯田市で豪雨による被害・敦賀湾沖地震による被害・伊那谷断層地震による被害・火災による被害・異臭発生による被害などを想定し開催されました。全体で41の訓練や災害体験、災害救助犬とのふれあい、災害パネル展示なども行われました。県生協連からは訓練番号NO38の救援物資配送訓練に、コープながの、生活クラブ生協長野の配送車が参加し、模擬の救援物資を本部前に輸送する訓練を行いました。また、JA長野中央会とともに給食訓練用のお米（水飯米）の提供を行い、日赤奉仕団が行う炊き出し訓練用のカレーに使用していただき、訓練参加者や一般見学者などに提供されました。



介護福祉部会で県外生協を視察しました

11月6日（月）、7日（火）の2日間、県生協連介護福祉部会県外視察が行われ、長野医療生協、長野県高齢者生協、生活クラブ生協長野、事務局から9名が参加し、南医療生協（名古屋市）を視察しました。南医療生協の歴史や地域での組合員を中心とした活動の歴史などガイダンスDVDを視聴し、杉浦直美常務理事より詳しくお話を伺いました。すべてが市民参加の事業所づくりで、その活動のなかから担い手が広がっているとのこと、どんな事業所を作っていきたいかの徹底討議、開設目標にこだわって何度も地域訪問（これが、南医療生協を語る広報活動になる）、市民参加に徹底的にこだわることが当事者意識を育む、事業開始から我が事となり、ボランティア体制がスタートして継続して運営に積極的に関わることにつながるなど、最近15年間の事業所づくりの歴史を駆け足でお聞きしました。南医療生協の総合的な地域医療とは「医療の場は病院・診療所だけでなく、暮らしそのものであること。治す医療から治し暮らしまると支えあう医療。そのためには、地域と事業所の共同の力が大切。行政・公職者・NPO・他の事業者などあらゆる人々と手をつなぐことが重要」との考えです。最後に、視察研修全体を通して、山口義文副理事長と意見交換をさせていただき、南医療生協が取り組んできた組織風土の改革や理事会改革など長い時間をかけて積み重ねてきた思いをお聞きし、基本理念『みんなちがってみんないい、ひとりひとりのいのち輝くまちづくり』が浸透している様子を感じることができました。また、成瀬専務理事からは『行政任せの上からの公共に頼るのではなく、下からの公共を私たち自らの手で創り上げていく。地域で目の前の「困った」に即応して、地域での個別的で多様な働きかけを広げ、地域のつながりを再構築していく。これからの問題は専門職と地域の連携でしか解決しない』とのことばが印象的でした。とても充実した視察研修となりました。



医療部会で県外生協を視察しました

12月3日（日）～5日（火）の3日間、県生協連医療部会県外視察が行われ、長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、長野県高齢者生協、コープながの、事務局から14名が参加し、鳥根県の地域つながりセンターとそのセンターを支える生協（生協しまね様、松江保健生協様）を視察しました。

4日の朝、地域つながりセンターを訪問。冒頭に高橋玲子代表より有償たすけあいシステム「おたがいさま」の概要と歴史をお聞きしました。2000年の生協しまねのビジョンが土台にあり、「つくりたい人たちが手を挙げて、私たちの「おたがいさま」を作ろう！と、2002年に「おたがいさま」がスタート。生協組織の外に作り、利用が増える中で、利用の組合員枠を外した。枠を外したことで、つながりが広がり、より地域に深く根差した組織になれた。法人格は持たず、任意団体として活動を継続してきた。困った時には運営委員会で何度も話し合い自分たちで決めてきた。目指していることは「弱者の救済」ではなく、困っている人の想いやくらしへの共感を大切に、その想いにこたえてくれる人と「つなぐこと」に徹する。問題を解決することを目的にしない。助けてあげたい人につなぐことに集中する。相談が来てコーディネーターが最初に訪問するときに、「おたがいさまの考え方」をしっかりとお伝えして理解してもらうことを大切にしている。この点がとても大切なことだと感じました。依頼が増えてくると、介護保険の隙間を埋める事例が多くなり、何でも「おたがいさまに下請けに出す」感覚で依頼や紹介が来るが、「安く使える便利屋さん」にならないように、ケアマネさんに「おたがいさま」を理解してもらえようように努力することが大切とのこと。日頃の話し合いの場から生まれた共同の活動として「なないろ食堂」のご紹介もありました。JA・生協・保健生協・松江市社協・大学生と一緒に「子供たちを核にした地域づくり」を県社協のモデル事業として取り組んでいます。

4日の午後、松江保健生協を訪問し、病院など施設見学をさせていただきました。その後、幅広い活動のご紹介をいただき、懇談をしました。病院内には地域連携室があり、ケアマネジャーやケースワーカーなど総勢20人の体制で活動していて、「おたがいさま」を紹介して利用してもらう事例も多いそうです。

5日の午前に生協しまねを訪問して、石原副理事長、大木専務よりお話を伺い懇談しました。「おたがいさま」は生協しまねのビジョンの具体化、方針のなかから生まれた活動ですが、生協しまねと「おたがいさま」との間には特別な関係や決め事はありません。地域で「おたがいさま」を作りたい人が「おたがいさま」を作り運営するのです。ですから2002年に「おたがいさま いずも」が誕生してから、2015年に「おたがいさま 益田」ができるまでに10数年かかっています。各「おたがいさま」が運営委員会で論議をして全体運営から財政的なこと、利用料、応援料、コーディネーターや運営委員の活動費なども自分たちで収支を検討して金額を決めています。ですから「おたがいさま」と生協しまねは全く別の独自の組織ということになります。その他、地域つながりセンターでは「あったか地域づくり協議会」の取り組みなどのお話も伺い、生協組織とは別の組織であるがゆえに、地域の諸団体や行政とも広く深くつながっていることも教えていただきました。

今回の視察では相談役の毛利敬典氏、鳥根県農業協同組合くにびき地区本部の田中鈴夫氏、鳥根県社会福祉協議会の地域福祉部の岩崎正志氏など幅広いみなさんとも交流させていただき、本当に地域つながりセンターが地域に広く根を張っていることを学ぶことができ、とても充実した視察研修となりました。



市町村消費者行政窓口と消費者団体と 消費生活サポーターとの 懇談会を県下9会場で開催されました

県消団連では、10月～11月に長野県内77市町村の消費者行政窓口と消費者団体及び消費生活サポーターとの懇談会を県内9会場で開催し、市町村の行政担当者29名を含めて延べ167名が参加しました。消費者として個人・団体からの参加者93人（消費生活サポーター含む）の参加があり、懇談会は県消団連が主催し、県くらし安全・消費生活課の協力のもとで開催しました。

今年で4回目になる懇談会ですが、7月に実施した市町村消費者行政関連調査のまとめ、県からの情報提供を受けて、各市町村の消費者行政の現状や消費者団体の活動状況の交流、また消費生活サポーターと市町村行政との意見交換も活発に行われました。特殊詐欺被害の半減・撲滅を目指す「長野県消費生活基本計画」（2014年策定）を推進する事もこの懇談会の目的の1つです。懇談もグループ討議形式で活発な懇談会となりました。

今年は行政からの参加が少し減りましたが、消費生活サポーターからの多くの活動事例の報告があり、県から郵送されている資料や新鮮見守り情報が有効に活用されている場面が報告されました。他の参加者の報告を聞いて、「今まで活動の仕方が分からなかったけれど、今日事例を聞いて、自分にもできることをやってみたい！」との発言も多くありました。各行政からの報告では、消費生活サポーターと連携して、協働活動が広がっている市もあれば、まだまだ行政との連携が生まれていない市町村も多く、今後も課題が発見できたことは大きな成果であり、今後は、今年の懇談会の結果をまとめて、市町村や参加者にフィードバックするとともに、県へも懇談会の結果を報告する予定です。

今年、消費生活基本計画の第2期計画が審議会で検討されています。消費者教育の充実や消費生活サポーターの活躍の場の広がりが、今後ますます期待されます。

▶南信州地区会場



◀松本北アルプス地区会場



▶諏訪地区会場



◀上小地区会場



▶木曾地区会場



第7回幹事会を開催しました

日時：11月13日（月） 10時00分～12時00分

場所：長野県婦人会館 会議室（長野市）

出席：11名（幹事8名：監事1名：事務局2名）

内容：幹事会に先立ち、食用塩公正取引協議会専務理事 新野氏を講師に食用塩試買調査を受けて学習会と意見交換会を行いました。試買調査結果報告の後、食用塩の表示の意味、

製法表示などについて学習しました。意見交換会では試買調査を経る中で、商品表示の意味について認識を新たにしたこと、消費者にとって分かりにくい表示の語句があること、食用塩の表示について消費者への広報を更に積極的に行う要望などの意見が出されました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました

- (1) 2017年度市町村消費者行政担当者と消費者団体・消費生活サポーターとの懇談会についてまとめ(1次)
- (2) 第47回消費者大会関連
- (3) 長野県消費生活基本計画素案に対する意見
- (4) 長野県森林づくり県民税に関する基本方針（案）に対する意見
- (5) 第4次長野県環境基本計画答申案に対する意見の扱い
- (6) 全国消団連より消費者契約法「地方議会から意見書提出を求める取り組み」への協力依頼の対応について



第47回長野県消費者大会

日時：11月21日（火） 10時00分～15時30分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：139名

主催：長野県消費者団体連絡協議会

内容：●開会の言葉 縣美智子副会長

●開会のあいさつ 鶴飼照喜会長

●来賓あいさつ 長野県県民文化部 部長 青木弘様

●基調報告「長野県消団連の取り組み報告」牛澤高志 事務局長

●特別講演「考えてみよう、私たちの暮らしと消費スタイル」

立教大学21世紀社会デザイン研究科教授の萩原なつ子氏

●閉会の言葉 岩崎恵子副会長

特別講演では立教大学21世紀社会デザイン研究科教授の萩原なつ子氏に「考えてみよう、私たちの暮らしと消費スタイル」をテーマにご講演いただき、午後からは講師をファシリテーターにワールドカフェ形式のグループワークが行われました。消費者教育や消費者の権利と責任を歴史の流れの中でわかりやすく説明され、「ひとりひとりの小さな政策決定（暮らし方）が持続可能な社会を形成する切り札（PSR）」と話されました。消費者として学び知る事の大切さ、そして責任をもって行動することの意味などいろいろな事例を交えてお話いただきました。午後のグループワークでは「持続可能な社会ってどんな社会」を共有し、明日から取り組める具体的なアイデアを考え、全グループが発表しました。



萩原なつ子氏



長野県協同組合連絡会第4回幹事会が開催されました

日時：10月30日（月） 13時30分～14時45分

場所：J A長野県ビル 12階C会議室（長野市）

出席：6団体9名

内容：(1) 協同組合職員交流集会について

(2) 長野県協同組合連絡会「シンボルマーク」の作成について



長野県協同組合フェスティバル2017 第5回実行委員会が開催されました

日時：10月30日（月） 15時00分～16時00分

場所：J A長野県ビル 12階C会議室（長野市）

出席：16名（長野県協同組合連絡会構成団体の役職員及び構成団体の会員）

内容：牛澤高志事務局長が開会挨拶を行い、議事を進めました。

(1) 長野県協同組合フェスティバル2017のまとめについて

(2) 次年度の会場仮予約と日程の件

(3) 参加実行委員の感想について

(4) アンケート集計結果の報告



お知らせ

2017年度 下期研修会のご案内

◆日時：2018年1月26日（金） 13時30分～16時30分

◆会場：ホテルメトロポリタン長野 2階梓の間

◆講演：テーマ①「長野県経済の現状と2018年の見通し」

講師：長野経済研究所 調査部長 小澤吉則氏

テーマ②「消費者の立場で資産運用のリスクとメリット正しく理解する」

講師：ファイナンシャルプランナー 原泰彦氏

◆参加費：無料

◆参加申込：県生協連事務局まで申し込みをお願いいたします。

◆連絡先：長野県生活協同組合連合会 TEL 026-261-1380

災害時の連携を考える長野県フォーラム ～多様な担い手が集う場～のご案内

◆日時：2018年1月29日（月） 13時～16時30分

◆会場：ホテルメトロポリタン長野 3階浅間の間

◆内容：■講演①「災害ボランティアセンターによる被災者支援と多様な連携の広がり」

講師：園崎秀治氏（全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター副部長）

■講演②「災害時におけるNPOの活動～支援の連携調整の取り組み～」

講師：明城徹也氏（NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク事務局長）

■グループ交流

◆参加費：無料

◆参加申込：県生協連事務局まで申し込みをお願いいたします。

◆連絡先：長野県生活協同組合連合会 TEL 026-261-1380

奨学金問題セミナー

「奨学金の現状を知り、未来を切り開く」のご案内

- ◆日時：2018年2月17日（土） 13時30分～16時30分
- ◆会場：信州大学工学部国際科学イノベーションセンター 2階セミナースペース
- ◆内容：■基調講演「若者の格差と貧困-奨学金問題から考える」
講師：中京大学教授 大内裕和氏
■報告「学生生活実態調査と学生向け奨学金アンケートの結果より見える事」
報告者：前全国大学生協連学生委員長 升本有紀氏
- ◆参加費：無料
- ◆参加申込：県生協連事務局まで申し込みをお願いいたします。
- ◆連絡先：長野県生活協同組合連合会 TEL 026-261-1380



ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)

ノーベル平和賞授賞式参加報告会

2017年10月、ノーベル平和賞が、「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」に授与されました。12月10日ノルウェーのオスロで開催される授賞式に、ICANは被ばく者の代表として、カナダ在住のセツコサーローさん、日本被爆者団体協議会の田中熙巳さんとともに、日本被爆協事務局次長で、長野県原爆被害者の会会長の藤森俊希さんを招待しました。

オスロの授賞式に参加された藤森俊希さんに、今回のノーベル平和賞授賞式の感動と、ICANのノーベル平和賞受賞の意味、そして核兵器のない世界への展望などを語っていただきます。



報告者：藤森俊希さん

- ◆日時：2018年1月20日（土） 13：30～16：00
- ◆会場：長野市旭町 長野県教育会館 3F
- ◆演題：「ICANノーベル平和賞受賞の意義と、核兵器廃絶への展望」（仮題）
 - ・日本原水爆被害者団体協議会事務局次長
 - ・長野県原爆被害者の会会長
 - ・ヒバクシャ国際署名推進長野県連絡会代表世話人
- ◆ミニ平和コンサート：ザ・イスカandal
- ◆参加費：無料（どなたでも、ご自由に参加できます。大勢の方のご参加お待ちしております）
- ◆問い合わせ先：ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会
【事務局】長野市旭町1098 教育会館2F TEL：026-235-3700

Information

長野県生協連 2018年1月～2月 活動予定

| 月 日 | 会議・活動内容など |
|-----------------|--|
| 1月10日(水) | 労福協新春交歓会 |
| 1月15日(月) | 第8回県消団連幹事会、医療部会 |
| 1月16日(火)～17日(水) | 日本生協連全国方針検討会議 |
| 1月16日(火) | 国際協力田米発送式 |
| 1月20日(土) | ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン) ノーベル平和賞授賞式参加報告会 |
| 1月22日(月) | 労福協体育大会実行委員会 |
| 1月23日(火) | 労福協合同研修会 |
| 1月24日(水) | 長野県協同組合連絡会第5回幹事会・職員 交流会 |
| 1月26日(金) | 常任理事会、下期研修会、賀詞交歓会 |
| 1月29日(月) | 災害時連携を考える長野県フォーラム |

| 月 日 | 会議・活動内容など |
|----------|-------------------------|
| | ながの消費者支援ネットワーク理事会 |
| 1月30日(火) | 中央地連運営委員会 |
| 2月5日(月) | 労福協共同編集会議 |
| 2月8日(木) | 第9回常任理事会 |
| 2月9日(金) | 中央地連大規模災害対策協議会 |
| 2月15日(木) | 地方消費者フォーラムin群馬(東京ブロック) |
| 2月16日(金) | 介護福祉部会 |
| 2月17日(土) | 奨学金学習会 |
| 2月19日(月) | 第9回県消団連幹事会 |
| 2月20日(火) | 第5回理事会 |
| 2月27日(火) | 全国消費者フォーラム |
| 2月28日(水) | 今こそ！地方消費者行政充実のためのシンポジウム |

会報 ねっとわあくNo254

発行：長野県生活協同組合連合会 〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668番地 生活協同組合コープながの本部内
TEL.026-261-1380 FAX.026-261-1381

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

